

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した事例

日付	回数	委員からの意見	取組状況
27.5.19	第39回	大学共同利用機関と総研大が繋がっていることは本当に素晴らしい特色なので、そこをもっとセールスされて目立つようにすべきである。	平成30年度に本格実施を予定する専攻(基盤機関)をまたぐ分野横断型教育プログラムの「コース型教育プログラム」として位置づける現行の特別教育プログラムの周知・受講者増加を目的として平成28年4月、10月に新入生を対象としたリーフレットを作成し配付を行った。
27.6.24	第40回	機能強化構想の戦略Ⅰのカスタムメイド高度専門教育システムの構築について、最近、同質化の問題が言われて、もっと異質なことを考えていかなければいけないと言われており、自分が持っている異質性や特徴性が、先生とのいろいろな話し合いの中からそういうものが明確に出てきて、それを徹底的に伸ばしていくことによって素晴らしい研究者が誕生するのではないか。	カスタムメイド高度専門教育システムの構築においては「コース型教育プログラム」のほか、すべての研究者に身に付けてほしい基礎的教養を涵養させることを目的とする「ベースストーン授業科目」や、研究科合同セミナー、学生セミナー委員活動など正課及び正課外における本学学生の能動的活動を対象とする「非コース型教育プログラム」と併せ、キャリア教育としての「インターンシップ・コース」の枠組み・体系を、平成29年10月を目処に教育研究委員会、各分科会を中心として検討作業を行うこととした。
27.11.13	第42回	国の財政が非常に厳しい中、教育・研究予算も年々減少していく。教育・研究を強化するが国からの財源は無いとすれば、自ら資金を確保する他ないが、何か展望を持っているか。	寄附金収入の拡充を図るため、「国立大学法人総合研究大学院大学寄附金獲得戦略」の策定(H28.7.27)や就学支援基金の設置(H28.6.29)を行った。